

8 山 岳 総 合 セ ン タ ー

(1) 職員組織

所長 1 専門主事 1 主任(出納員) 1 庁務技師 1

(2) 施設の概要

教室・講堂・体験室・図書館・談話室・宿泊室(9室64人収容)・食堂・浴室・装備室・応接室・事務室・
その他(付属施設 人工岩場)

(3) 事業実績

山岳に関する研究及び調査並びに健全な登山に関する教育事業を積極的に実施した。
各講座の実施状況は以下のとおり。

No	講 座 名	募集 定員	応募 者数	受講 者数	うち 県内	性 別		年 代 別 構 成					
						男	女	~19	20代	30代	40代	50代	60~
学1	長野県高等学校登山研修会	15	18	16	16	16	0	12	1	1	0	2	0
学2	集団登山引率者研修会	30	14	13	13	11	2	0	3	8	2	0	0
学3	小中学生のためのクライミング教室	20	30	30	27	18	12	21	0	1	8	0	0
学4	ジュニアクライミング講習会	25	40	34	33	28	6	27	0	1	5	1	0
共5	登山の基礎講座1 「登山の医学、遭難、地図の読み取り」	40	48	39	29	29	10	1	1	15	3	13	6
共6	登山の基礎講座2 「計画、装備、食糧、天気図」	40	45	39	19	31	8	0	1	11	6	11	10
共7	山岳自然保護講座	40	27	25	24	18	7	0	0	5	2	8	10
共8	岩登りとスポーツクライミング	25	52	26	22	14	12	0	2	11	8	3	2
生9	リーダーコース開講式 および「山で役立つ救急法」	26	28	22	15	19	3	0	1	6	3	10	2
生10	雪上技術講習会1	30	43	36	27	28	8	1	0	13	6	11	5
生11	雪上技術講習会2 (リーダーコースのみ)	26	25	23	15	18	5	0	0	9	1	10	3
生12	初めての山登り	25	18	14	9	13	1	0	0	2	6	4	2
生13	夏山登山の危急時対策1 (リーダーコースのみ)	26	27	25	17	21	4	1	0	9	2	9	4
生14	夏山登山の危急時対策2 (リーダーコースのみ)	26	25	20	13	15	5	0	0	8	1	8	3
生15	冬山講習会 「雪山の歩行と雪洞の作り方」	35	50	35	21	28	7	0	1	14	4	10	6
生16	リーダーコース修了研修 (リーダーコースのみ)	25	23	23	13	18	5	0	0	5	4	6	8
生17	講師研修会1(夏山)	20	27	24	17	21	3	0	2	4	5	8	5
生18	講師研修会2(登山案内人)	15	9	8	8	7	1	0	0	3	1	0	4
生19	講師研修会3(冬山)	30	38	36	27	30	6	0	5	9	7	10	5
生20	友の会研修登山	なし	36	33	15	24	9	0	0	1	2	11	19
合 計		519	623	521	380	407	114	63	17	136	76	135	94

No欄 「学」:学校体育研修講座、「共」:学校体育・生涯スポーツ共通研修講座、「生」:生涯スポーツ共通講座

(ア) 学校体育研修講座

(実技主任講師 座学講師)

受講率 = 受講数 ÷ 定員 × 100

講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象 / 定員	
長野県高等学校登山研修会 (2日)		5月10日(土) ～11日(日)		センター 針ノ木雪渓		高校山岳部員と顧問 / 15名	
【高等学校の山岳部の生徒及び指導者が、雪上歩行とロープワークおよび幕営など生活技術の基礎を身につける。】							
申込数	受講数	男(顧問)	女	県内	県外	受講率	大西 浩 今滝 郁夫 河竹 康之 古幡 和敬 中嶋 岳志
18	16	16 (4)	0	16	0	107%	
顧問が学校を休みにくい等の反省から土日のみに日程を短縮して開催した。1日目は、開講式の後、扇沢に入山し、雪上歩行、テント設営、滑落停止などの実技をおこなった。夜から雪が降り、2日目は下山した。							
講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象 / 定員	
集団登山引率者研修会 (2日)		6月20日(金) ～21日(土)		センター 猿ヶ城		長野県学校職員 / 30名	
【集団登山に必要な知識や技術を、実際の登山を通して身につけるとともに、生徒の意欲の問題や身体に関する不安を研究協議によって解消する。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	中川 恵一 古幡 和敬 中嶋 岳志
14	13	11	2	13	0	43%	
1日目は中川講師より、「山の魅力と危険」の講義を行った後、安全確保技術の実技と中学校集団登山の課題と指導の方策について研究協議を行い、さらに古幡講師より救急法の講義を行った。2日目は猿ヶ城登山をしながら歩き方、休憩の仕方からツエルトの使い方、搬送などについての実技を行い下山した。							
講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象 / 定員	
小・中学生のための クライミング教室 (1日)		8月3日(日)		人工岩場		小中学生の初心者およびその保護者 / 20名	
【人工壁のクライミング体験を通して、安全な岩登りの基礎的な知識や技術を身につけ、山や岩を登る楽しさを味わう。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	森山 謙雄 乃村 昌広 山田 正充 村田 健治 榛葉 伸男 稲田 憲治 太田 英伸 栗原 久 浅川とよ子 古幡 和敬 中嶋 岳志
30	30	18	12	27	3	150%	
子ども21人、保護者9人							
森山講師が、ハーネスの付け方・ロープの結び方、基本的な登り方と降り方・注意事項等をデモンストレーションを交えて行った。その後、グループ別に外壁・内壁をローテーションして登った。ロープの確保についても講習し、保護者が自分の子供の登る確保を行ったりした。							

講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
ジュニアクライミング研修会 (2日)		9月6日(土) ~7日(日)		センター、人工岩場		高校生山岳部員、 顧問、一般高校生、 小中学生経験者 / 25名	
【(生徒):クライミングを楽しむとともに、登るための技能の向上 (顧問):生徒に安全かつ意欲的にクライミングをさせるための指導力の向上】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	堀江 謙一 赤塚みのり 古倉 康雄 嶋崎 孝 中嶋 岳志 古幡 和敬
40	34	28	6	33	1	136%	
顧問及び保護者 8人、児童・生徒 21人							
1日目は、中嶋専門主事からクライミングの基本と用語について講習した後、センターの人工岩場へ移動し、内壁と外壁を使って初心者はトプロープによるクライミング、経験者はリードクライミングの練習をした。センターに戻ってから堀江主任講師より顧問対象にクライミングの指導方法、全員対象にムーヴと練習方法について講義と実技の指導を受け、その後全員でボルダリングを行った。2日目は、ダイアゴナル・カウンターバランスを意識した登り方の練習、リードクライミングの練習を行った。							

(イ) 学校体育・生涯スポーツ共通研修講座

講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
登山の基礎講座1(座学)(2日) 「登山の医学、遭難事例、地図の読み取り」		7月5日(土) ~6日(日)		センター		一般・初心者 / 40名	
【登山における体のはたらきと病気やけがの手当、遭難事例から学ぶこと、地図の読み取りについて学習し、安全で有意義な登山を行うための基礎的な知識を獲得する。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	飯田 泰人 小倉 昌明 浮須 由実 古幡 和敬 中嶋 岳志
48	39	29	10	29	10	98%	
1日目は、浮須講師から「地図の読み取り」について講義を行った後、屋外に出て「地図とコンパスによる現在位置の確認」の実習を行った。その後小倉講師から「遭難事例に学ぶ」について講義を行った。2日目は古幡講師による「山で役立つ救急法」の実技指導を行った後、飯田講師の「登山の生理学、体力、高山病」の講義を行い、午後は「登山中の危険な症状と対処」について講義を行った。							
登山の基礎講座2(座学)(2日) 「登山計画、装備、食糧、天気図の読み取り」		12月6日(土) ~7日(日)		センター		一般・夏山登山経験者 / 40名	
【登山計画の立て方や登山に必要な装備と食糧について学ぶとともに、天気図の読み取りについて知識を深めることによって、安全で有意義な冬山登山を行うための基礎を身につける。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	榛葉 伸男 城所 郁夫 中村 和義
45	39	31	8	19	20	98%	
1日目は榛葉講師より講義と実習を行った。パワーポイントを使って登山計画の立て方について講義を行った後、黒沢尾根周辺の概念図作成や登山計画書作りの実習を行った。必要な装備と食糧については、実際の装備品を提示し説明をした。また、ピーコンとツエルトの使い方の実習を屋外にて行い冬山への期待をふくらませた。また、中村講師より「私の冬山体験(マッキンレー登山報告)」として体験談を聞いた。2日目は城所講師より「天気図の読み取り」についての一般的な講義の後で、特に冬山で重要な高層天気図の使い方についての講義を行った。							

講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象 / 定員	
山岳自然保護講座 (座学) (1日)		10月4日(土)		センター		山岳指導者 自然保護指導者 / 40名	
【山岳関係者等に山岳自然の仕組みを学んでもらうことにより、幅の広い登山活動・自然保護活動が行えるようにする。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	逢沢 浩明 後藤 光章 千葉 悟志
27	25	18	7	24	1	63%	
逢沢講師より「霧ヶ峰の自然の現状と保全」、後藤講師から「ツキノワグマの被害対策」、千葉講師から「絶滅危惧植物の生活史」の講義を行った。							
講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象 / 定員	
岩登りとスポーツクライミング (2日)		11月8日(土) ～9日(日)		センター、人工岩場 長野市物見の岩		一般・初心者 / 25名	
【岩登りの基礎的な知識や技術を学んだり、体験したりすることにより、安全確保についての考え方を身につけるとともに、登る楽しさを味わう。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	中嶋 岳志 森山 謙雄 羽山 菜穂子 浅井 和英 古幡 和敬
52	26	14	12	22	4	104%	
1日目は、人工岩場においてロープワークを行った後、グループ毎各壁面を登ることと懸垂下降訓練を行った。夕方はセンターで講義とムーブについて講習をした。2日目は物見の岩へ行き、支点作りと懸垂下降、セカンド又はトップロープでのクライミングを行った。							

(ウ)生涯スポーツ共通研修講座

講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象 / 定員	
山で役立つ救急法 (3日) (リーダーコースのみの講座)		4月18日(金) ～20日(日)		センター		リーダーコース生 / 24名 (日赤救急員資格のある方を除く)	
【平成20年度リーダーコースの開講にあたってオリエンテーションを受け、1年間の心構えを持つ。 ・登山活動中および日常生活でおこる病気やけがに対して、必要な救急処置の方法を学び、日赤救急員資格を取得する。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	古幡 和敬
28	22	19	3	15	7	96%	
古幡講師が配布した教本、実際の山での遭難事例、平地で見聞した事例等を出しながら講義と実技指導を行った。3日目には実技と筆記の試験を行い、追試者もいたが全員日赤救急員資格を取得できた。							

講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
雪上技術講習会1(3日) 「ピッケル・アイゼンとロープによる確保技術」		5月9日(金) ~11日(日)		センター 針ノ木雪渓		一般・雪山初心者(65歳以下)、リーダーコース生/30名	
【残雪期登山に必要な、アイゼンやピッケルの使い方やロープによる確保技術を学んだり、雪上での幕営生活技術を身につけることを通して、春の雪山を知り楽しむ。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	山田 正充 村田 健治 榛葉 伸男 中村 和義 佐藤 祐樹 栗原 久 古幡 和敬 中嶋 岳志
43	36	28	8	27	9	120%	
山田講師より「残雪期の登山の特徴と魅力、秘められた危険性、登山を安全に楽しむために必要な知識・技術・装備」等について教本を使って講義を行った。2日目は針ノ木雪渓に入り大沢小屋周辺にテントを設営後大沢で雪上歩行の訓練をおこなった。3日目は前夜からの雪が積もり、大沢周辺での実技は危険と判断し、センターに下山後、ロープワークの訓練をおこなった。							
講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
雪上技術講習会2(2日)		5月24日(土) ~25日(日)		センター 針ノ木雪渓		リーダーコース生/26名	
【雪上技術講習会1の技術確認をするとともに応用力を養う。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫 村田 健治 榛葉 伸男 高橋政男 山田 正充 古幡 和敬 中嶋 岳志
25	23	18	5	15	8	88%	
1日目は扇沢駅に集合し、針ノ木雪渓に入山後、雪上技術講習会1の実技復習(雪上歩行技術、滑落停止技術)を行った。夜は雨が降ったためセンターに戻って前庭でピバーク訓練をした。2日目はやはり天気が悪く、センター周辺、人工岩場、堰堤人工岩場にてロープワーク訓練を行った。							
講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
初めての山登り(3日)		6月27日(金) ~29日(日)		センター 爺ヶ岳		一般・初心者(62歳以下)/25名	
【登山を始めようとする者が、夏山期登山に必要な計画の立案、装備や食料の準備、登山道の歩き方、休憩の取り方、山小屋での過ごし方等基礎的な登山技術を学び実践しながら初夏の山を楽しむ。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	杉田 浩康 古幡 和敬 中嶋 岳志
18	14	13	1	9	5	56%	
1日目はセンターにて杉田講師より「夏山登山の基礎」について講義をした後、班毎に登山計画書の作成と地図の見方、装備点検等の実技を行った。2日目はタクシーで扇沢に移動し、班毎に柏原新道から歩き方、休み方、地図による現在位置の確認、フィックスロープの通過などの研修をしながら爺ヶ岳に登頂し種池山荘に宿泊した。3日目は柏原新道より下山し、センターにて片付けをして解散した。							

講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員				
夏山登山の危急時対策1(3日) (リーダーコースのみの講座)	7月19日(土) ~21日(月)	センター、人工岩場、 七倉沢	リーダーコース/26名				
【夏山における支点の作り方、危険箇所の通過、ピバーク方法を身につける。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫 杉田 浩康 村田 健治 榛葉 伸男 栗原 久 古幡 和敬 中嶋 岳志
27	25	21	4	17	8	96%	
1日目は、柳澤講師から危急時対策と確保理論の講義を受けたあと人工岩場にて懸垂下降訓練およびタイヤ落としによる確保訓練を行った。2日目は七倉沢に入山し、班毎に支点の構築や確保の訓練を行った後ピバークした。3日目は、確保訓練、懸垂下降訓練、渡渉等を繰り返し行った。							
講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員				
夏山登山の危急時対策2 (2日) (リーダーコースのみの講座)	9月27日(土) ~28日(日)	高瀬川支流七倉沢	リーダーコース/26名				
【夏山における支点の作り方、危険箇所の通過、負傷者搬送方法を身につける。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫 村田 健治 榛葉 伸男 栗原 久 中嶋 岳志 古幡 和敬
25	20	15	5	13	7	77%	
1日目は、七倉駐車場に集合し七倉沢に入山。最終堰堤の上部河原をピバーク地として荷物をデポし、周辺の岩場で支点構築や渡渉、懸垂下降の訓練を行った。2日目は背負い搬送、索道による搬送、担架、柴ぞりなどによる搬送の訓練を行った。							
講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員				
冬山講習会(4日)	2月8日(金) ~11日(月)	センター 黒沢尾根(遠見尾根支稜)	一般・夏山登山経験者 およびリーダーコース生 /35名(65歳以下)				
【雪山での安全な歩行や、幕営・雪洞作りなど冬山の基礎的な技術を学んだり、冬の自然にふれたりすることにより雪山への理解を深める。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫 杉田 浩康 村田 健治 榛葉 伸男 中村 和義 栗原 久 中嶋 岳志
50	35	28	7	21	14	100%	
1日目は、柳澤講師より冬山登山の基礎について講義を行った後、班毎に食料計画を立案し、買い出し、パッキング等を行った。2日目は鹿島槍スキー場へ移動し、リフト2本乗り継いだ後、班毎に雪質観察、安全なルート設定を行いながら行動し、幕営した。3日目は地図を見ながらの行動、ロープワーク、雪崩埋没者の探索訓練後、雪洞を造った(リーダーコースはピバーク雪洞)。4日目はルート設定、雪質の観察を行いながら下山した。							

講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員				
リーダーコース修了研修 (2日)	3月7日(土) ~8日(日)	センター、人工岩場、堰堤 人工岩場、仏崎の岩場周辺	リーダーコース修了者 /25名				
【本年度リーダーコースの全課程を修了する生徒に、リーダーとしての自覚と責任を喚起するとともに、登山技術の確認とまとめの会を行う。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫 村田 健治 榛葉 伸男 高橋 政男 中嶋 岳志 古幡 和敬
23	23	18	5	13	10	92%	
1日目は、柳澤講師より「リーダーの責任と目見」の講義を行った後、人工岩場にてロープワークの復習を行った。さらに「リーダーコースを終えて」の作文を書き、最後に1年間リーダーコースを受講しての疑問点や個人の課題を出し合い話し合った。2日目は仏崎の岩場周辺で確保技術、懸垂下降技術の確認を行いながらの総合登攀訓練を行った。訓練終了後センターに戻り、修了式をして1年間を締めくくった。							
講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員				
講師講習会1(夏山)(2日)	8月30日(土) ~31日(日)	高瀬川支流七倉沢	センター研修講座の講師 山岳会指導者				
【無雪期の危急時対策訓練により、これからの山行をより安全なものとする。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫 高橋 政夫 中嶋 岳志 古幡 和敬
27	24	21	3	17	6	120%	
1日目は七倉駐車場にて開校式をしてから雨のためセンターに移動し、懸垂下降や搬送訓練を行った。2日目は七倉沢に入山し、支点構築訓練と索道、柴ぞりによる搬送訓練・ピバーク訓練などを行った。							
講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員				
講師講習会2(登山案内人) (2日)	9月18日(木) ~19日(金)	センター、七倉沢	登山案内人研修(実技) の講師/15名				
【信州登山案内人能力向上研修(実技)で講師を務めるため、登山案内人に必要な安全確保技術について共通認識を深める。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫
9	8	7	1	8	0	53%	
1日目は、柳澤講師より「確保理論」の講義の後、仏崎の岩場に移動して確実な支点作りと場に応じた確保の実習を行った。さらにセンターに戻り、転滑落を防ぐ方策について研究協議を行った。2日目は七倉沢の岩場にて、フィックスロープの設置と回収、救急法と搬送について研修を深めた。							
講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員				
講師講習会3(冬山)(2日)	1月24日(土) ~25日(日)	黒沢尾根	センター研修講座の講師 山岳会指導者 山岳関係者/30名				
【講師としてまたは山岳関係のリーダーとして、雪質観察や雪崩埋没者の搜索救出訓練・搬送訓練をどう展開したらよいか検討することを通して、講師としての資質を高める。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	柳澤 昭夫
38	36	30	6	27	9	120%	
1日目は、鹿島槍スキー場から黒沢尾根にとりつき、6班に分かれて雪質の観察、弱層テスト等を行った。その後センターへ戻り、柳澤講師より雪崩についての講義を行った後、夕食後さらに雪崩埋没者搜索訓練のやり方について班毎に協議した。2日目は、雪崩埋没者搜索訓練、搬送訓練などを行い検討を加えた。							

講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象 / 定員	
友の会研修登山 (2日)		10月18日(土) ~ 19日(日)		御嶽山、おんたけ休暇村		友の会会員 / 定員なし	
【研修生の親睦と登山技術の向上】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	山口 憲夫 中嶋 岳志 古幡 和敬
36	33	24	9	15	18	-	
<p>1日目は、王滝村にある「名古屋市民おんたけ休暇村」に集合、総会を行った後、明日の御嶽山登山に備え班ごとに打ち合わせ会、全員で交流会を行った。</p> <p>2日目は、秋晴れの紅葉の中、班ごとに登山開始。途中、地形図、概念図、コンパス等により現在位置の確認、歩き方、水分摂取等の研修をしながら剣ヶ峰に全員が登頂の後田の原に下山した。</p>							